

美穂まちづくり計画

～みんなに優しいまちづくりをめざして～



大井手川堤防の桜と美穂地区遠景
～遠くに「扇の山」を望む～



美しい稲穂の田園風景

平成23年3月
美穂まちづくり協議会

はじめに

まち（むら、地域）づくりに対する地域住民の要望が多様化・高度化する中、すべてを行政に頼るのではなく、住民と行政による「協働」によって、地域住民の意見をまとめながら、地域課題を効果的に解決することが求められています。

また、地域の身近な課題を解決するためには、地域全体で意見を出し合い、各種団体等が連携・協力して活動することによって、地域住民の要望により的確に応えることができると思われます。

以上のことから、美穂地区という「地域」をよりよいものにしていくため、自分たちの周りでどのような課題があるかを地域住民の視点で検討し、住民総参加でその課題の解決に向けて取り組むべきであるとして、地区内で活動している区長会を始めとする各種団体が相集い、数次に亘る話し合いを重ねた結果、平成21年6月27日、美穂まちづくり協議会が発足しました。

その後、地域の皆さんの協力を得て実施したまちづくりアンケートの結果や役員会での議論を経て、ここに「美穂まちづくり計画」を策定する運びとなりました。

これをご覧になった感想やご意見をお寄せいただきたいと思います。



○ 美穂地区の現状と課題

◆ 現 状

①世帯数と人口

美穂地区の世帯数・人口を9年前と比較してみると、世帯数は増加しているものの総人口は減少し、しかし、65歳以上の高齢者数は横ばいで、結果として当地区も核家族化・少子高齢化が進展しているということになります。

但し、鳥取市全体の高齢化率（H22.9末現在）との比較では、当地区はそれほど大差ないのです。

(両年とも9月末現在の住民登録数)

	世帯数 (世帯)	総人口(人)			うち65歳以上(人)			高齢化率(%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
H13年	726	1,113	1,178	2,291	178	304	482	16.0	25.8	21.0
H22年	805	1,031	1,068	2,099	185	298	483	17.9	27.9	23.0
増 減	+79	-82	-110	-192	+7	-6	+1	+1.9	+2.1	+2.0
鳥取市	76,133	94,482	101,418	195,900	17,951	27,003	44,954	19.0	26.6	22.9

②周辺の状況

当地区は、県東部を北流する千代川と鹿野城主亀井茲矩が開いた農業用水路の大井手川に挟まれ、かつては米の産地を象徴して「美穂」と名付けられたと言われるほどの自然豊かな純農村地帯でした。

近年では、周辺の環境は大きく様変わりして来ております。鳥取刑務所、江山浄水場、平成22年3月に県内全線開通した鳥取自動車道等が地区西端に位置し、また、地区公民館に隣接してスポーツ広場が設置され、そして、何よりも休耕田や耕作放棄地が随所に見られるようになりました。



美穂地区の春



美穂スポーツ広場



鳥取自動車道遠景

◆課題

先に実施した「美穂まちづくりアンケート」の結果、次に大別できる項目が当地区の課題として見えてきました。

①少子化・高齢化が進行

65歳以上の高齢化率は現時点、鳥取市全体のそれと大差ないとは言え、今後は当地区もますます少子高齢化が進んでいくものと思われます。このことは、以下の諸課題すべてにも共通して関わる大きな問題となるに違いありません。

【年齢層別人口構成】

(平成22年9月末現在の住民登録数)

区分		～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	合計
美穂	人数	377	259	217	226	354	273	222	171	2,099
	%	18.0	12.3	10.3	10.8	16.9	13.0	10.6	8.1	100
鳥取市	人数	37,321	21,817	25,941	23,530	27,520	25,542	19,302	14,927	195,900
	%	19.1	11.1	13.2	12.0	14.1	13.0	9.9	7.6	100

②地域活動・ボランティア活動が低調

近年、個人情報保護、プライバシー尊重という面が強調され、他人のことには口を出しにくくなりました。よって、近隣の付き合いが疎遠になりがちで、その結果、思いやり（互助・共同）の心が失われるなど集落機能が弱体化しつつあります。

また、少子化により子ども会活動ができにくくなり、世代間交流も困難になりました。

しかし、ボランティア活動については、気持ちはあるがそのきっかけがつかめないと考えている人も多く、今後期待が持てます。

③安全・安心の面で問題

鳥取自動車道の開通により県道の交通量が減少し、そのためか、猛スピードで走り去る車が多くなりました。今後、子どもや高齢者の交通事故多発が心配です。

また、高齢世帯が多くなり、災害、火災等発生時に地域の機敏な対応が求められます。

④健康・福祉の面で不安

多くの方が自身の健康に不安を持っており、バランスのよい食事や自分に合った運動を仲間同士で取り組みたいと望んでいます。

今後、自分のことは素より周囲の、特に独居高齢者の増加に伴う福祉問題をお互いの問題として考えて行く必要があります。

⑤自然・農業の環境が悪化

地域内の小川で魚釣りをしたり、乱舞するホタルを追いかけた昔日の面影は今やなく、それどころかゴミが不法に投棄されるなど、近辺の自然環境は著しく悪化しています。

地域の基幹産業である農業面でも、農業に対する魅力がなく今後の展望も見通せないため、耕作放棄地が広がり、後継者不足が深刻な問題となっています。

美穂まちづくり計画

これまで述べてきました現状と課題を踏まえて、美穂地区をもっと住みよい、住んでいてよかったと思われる地域にして行きたいという願いを込めて策定した「まちづくり」のための計画です。これを実現するには、時には行政等関係団体の支援による「公助」が必要な場合もありますが、あくまでも私たち自らの「自助」「共助」が前提となります。皆さんのご協力をお願いする次第です。

なお、この計画は、短期的に実現を図るものと中長期的に実現を目指すものに区分してありますが、社会環境の変化なり皆さんのご意見を尊重しながら柔軟に対応して行くこととします。

1 みんなに優しいまちづくり

美穂地区に暮らす誰もが老いも若きも、また集落を超えてお互いが顔見知り、そして何でも話せる間柄になれば相互理解が深まり、「地域は一つ」という気運が醸成されて行くものと思われれます。そのためには、子どもから大人・高齢者まで同年代はもちろん異世代も交流できる機会、場所が必要です。

そうすることによって、お互いに隣人を気遣い、何かあればボランティア活動へと発展、さらには地域の活性化につながるはずです。

美穂地区をみんなに優しい地域にするため、特に子どもや高齢者を見守って行く活動の一環でもある世代間交流を含む諸事業に取り組みます。

【基本目標：お互いが助け合い、活力ある地域づくり】

1 短期的に実現を図る計画

- ・みんなが親しく出会い、交流懇談できる場所づくり
(公民館にカフェサロン設置等)
- ・全世代が気軽に集える会の開催
(地区夏まつり、花見会等)
- ・地区文化祭の拡充
- ・「となり組福祉員」との連携と強化
- ・地域ボランティア(リーダー)の育成
- ・諸事業における広報活動の充実

2 中長期的に実現を目指す計画

- ・地区レクリエーション大会の開催
- ・地区内伝統文化・芸能の発表イベント
- ・独居高齢者の病院への送迎、買物代行
- ・有償ボランティア制度の検討



美穂地区文化祭

2) 安全で安心できるまちづくり

美穂地区は治安の面では比較的安定しているものの、子どもや高齢者の交通事故、災害や火災への備え等の面が危惧されるため、これらの問題を総点検し、改善するよう取り組みます。



【基本目標：安全安心で事故・災害に強い地域づくり】

1 短期的に実現を図る計画

- ・交通事故防止のためのより強力な啓発活動
- ・地区総合防災訓練の実施
- ・集落単位に避難場所の設定・周知
- ・住宅用火災警報器早期設置の啓発活動
- ・災害時要援護者の把握と支援体制の整備
- ・防犯パトロールの継続実施



消火訓練

2 中長期的に実現を目指す計画

- ・地区内に路上駐車が常態化している家庭への駐車場設置要請
- ・県道等の危険箇所への反射材（緑石鎮等）設置要請（運転者への夜間注意喚起）
- ・集落単位・地区全体の防災マップの作成

3) みんなで育てみんなて学ぶまちづくり

美穂地区の子どもを育む環境を展望すれば、地区内には有害施設はなく自然に恵まれています。しかし、その有難さを実感して自然の恵みや郷土愛を醸成する教育がなされて来たのかを考える必要があります。

地域が一体となって将来を担ってくれる子どもたちの健全育成のために共に学び、共に遊ぶことによって、高齢者も元気になり地域の活性化が図れますので、そのための事業に取り組みます。

【基本目標：いつもニコニコ・ピンピンと元気な地域づくり】

1 短期的に実現を図る計画

- ・情操教育と郷土愛の醸成を目的とする絵本遠足
- ・勤労意欲の向上と仲間づくりを目的とする美化活動
- ・子どもたちが安心して過ごせる居場所づくり
- ・子ども会の活性化



2 中長期的に実現を目指す計画

- ・異世代間のスポーツ、レクリエーションの実施
- ・地区内伝統芸能の次世代への伝承活動
- ・放課後学童保育制度の検討



子育てサロン

子どもと大人のふれあい事業～エコ工作～

4 みんなで生き生き健康なまちづくり

誰もが寝たきりにならない充実した生活が送れるよう、そして「生涯現役」の気概を持ち続けられるよう、食生活改善と健全なスポーツ等による健康づくりのための事業に取り組みます。

【基本目標：老いも若きも健康づくりで生き生きと】

1 短期的に実現を図る計画

- ・健康ウォークラリーの実施と継続
- ・ミニ運動会の実施
- ・ニュースポーツの普及
- ・健康、食生活等に関する講座の開設

2 中長期的に実現を目指す計画

- ・地区健康まつりの開催
(地区レクリエーション大会と共催)
- ・健康ウォーキングマップの作成

ふれあいグラウンドゴルフ大会



地区駅伝大会



5 緑豊かな環境を活かしたまちづくり

良好な地域環境は、潤いと安らぎをもたらします。美穂地区を住みよい魅力ある地域にするため、地域の美化と活力ある農業の推進に取り組みます。

【基本目標1：いつまでもふるさとの風景を美しく】

1 短期的に実現を図る計画

- ・集落ごとに農道、堤防等に放棄してあるゴミの清掃
- ・地域全体で川のゴミを調査し、必要に応じて清掃
- ・ゴミ不法投棄監視の強化
- ・道路周辺の草刈り

2 中長期的に実現を目指す計画

- ・生活道路沿いに花を植える
- ・大井手川の土手を桜並木にする



用水路清掃作業

【基本目標2：生き生きとした明るい農業・農村地域に】

1 短期的に実現を図る計画

- ・農業を核とした地域交流イベントの実施
- ・耕作放棄地の生産組合による管理、生産体制の確立

2 中長期的に実現を目指す計画

- ・耕作放棄地を活用した地域特産農産物の栽培
- ・地元野菜や農産物加工品の農産物直売所の設置



稲刈り風景



美穂地区上空から日本海を望む

(1999.10 航空写真)

美穂まちづくり協議会

事務局 美穂地区公民館
住 所 鳥取市朝月22
TEL (0857) 53-0173
FAX (0857) 53-0246
Eメール: cc-mihob@it.city.tottori.tottori.jp